

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

製品名 : **プライマー80**
製品種類 : プライマー
使用上の制限 : 業務用
会社名 : シーカ・ジャパン株式会社
住所 : 東京都港区元赤坂 1 丁目 2 番 7 号 赤坂 K タワー7F
電話 : 03-6434-7291
緊急連絡先電話 : Sikaテクニカルセンター 047-436-0811
SDS No. : 422009000-3

2. 危険有害性の要約

製品のGHS分類、ラベル要素

GHS分類

物理化学的危険性

引火性液体: 区分 2

健康に対する有害性

急性毒性(経口): 分類できない

急性毒性(経皮): 分類できない

急性毒性(吸入): 区分に該当しない

皮膚腐食性/刺激性: 区分 2

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性: 区分 2B

呼吸器感作性: 分類できない

皮膚感作性: 分類できない

生殖細胞変異原性: 分類できない

発がん性: 分類できない

生殖毒性: 分類できない

特定標的臓器毒性(単回ばく露): 区分 1、区分 3

特定標的臓器毒性(反復ばく露): 区分 1

誤えん有害性: 分類できない

環境有害性

水生環境有害性 短期(急性): 区分に該当しない

水生環境有害性 長期(慢性): 区分に該当しない

オゾン層への有害性: 分類できない



注意喚起語: 危険

危険有害性情報

引火性の高い液体及び蒸気

皮膚刺激

眼刺激

臓器の障害(呼吸器、中枢神経系、腎臓)

呼吸器への刺激のおそれ

眠気又はめまいのおそれ

長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害(中枢神経、抹消神経)

注意書き

安全対策

取扱う前に全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わない。
保護手袋/保護眼鏡/保護衣/保護面などの個人用保護具を着用する。
粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入してはならない。
熱/火花/裸火/高温のもののような着火源から遠ざける。ー禁煙。
容器を接地する/アースをとる。
静電気放電に対する予防措置を講ずる。火災を発生しない工具を使用する。
取扱い後は手洗い・うがいをする。
この製品を使用するときに、飲食または喫煙してはならない。
環境への放出を避ける。
容器は密閉しておく。

応急措置

気分が悪い時は、医師の診断/手当を受ける。
飲み込んだ場合:直ちに医師に連絡する。口をすすぐ。無理に吐かせてはならない。
皮膚(または髪)に付着した場合:直ちに、汚染された衣類をすべて脱ぎ皮膚を流水/シャワーで洗う。
吸入した場合:空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させる。
眼に入った場合:水で数分間注意深く洗う。コンタクトレンズを着用し容易に外せる場合は外し洗浄を続ける。眼の刺激が続く場合、医師の診断/手当を受ける。
暴露または暴露の懸念がある場合:医師の診断/手当を受ける。
汚染した衣類を再使用する場合は洗濯する。
漏出物を回収する。

保管

直射日光、凍結を避け、換気の良い涼しい所で、容器を密閉し保管する。

廃棄

内容物/容器を地方/国の規則に従って廃棄する。

3. 組成及び成分情報

単一製品・混合物の区別 :混合物

化学名 :1成分湿気硬化型ウレタンプライマー

成分名	含有量(%)	CAS No.
酢酸エチル	50-60	141-78-6
メチルエチルケトン	3-5	78-93-3
酢酸n-ブチル	15-25	123-86-4
ウレタン樹脂、その他	10-30	非公開

4. 応急措置

吸入した場合

空気の新鮮な場所へ移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
気分が悪い時は、医師の診断/手当を受けること。

皮膚(又は髪)に付着した場合

多量の水と石鹸で洗うこと。直ちに汚染された衣類をすべて脱ぐこと。
皮膚刺激が生じた場合、医師の診断/手当を受けること。

目に入った場合

水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用して容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。眼の刺激が続く場合は、医師の診断/手当を受けること。

飲み込んだ場合

直ちに医師に連絡すること。無理に吐かせないこと。

最も重要な徴候及び症状

吸入した場合: めまい、し眠、頭痛

皮膚に付着した場合: 皮膚刺激、炎症
眼に入った場合: 刺激
応急措置をする者の保護
救助者はゴム手袋、保護眼鏡などの保護具を着用する。

5. 火災時の措置

適切な消火剤

粉末、炭酸ガス、泡

不適切な消火剤

消火に水を用いてはならない。

特有の危険有害性

燃焼ガスには、一酸化炭素、二酸化炭素、窒素化合物等の有害ガスが含まれるので、消火作業の際には、煙を吸入しないように注意する。

特有の消火方法

消火作業は風上から行う。

消火のための放水等により、環境に影響を及ぼす物質が流出しないよう適切な措置を行う。

消火を行う者の保護

燃焼により有毒なガス(一酸化炭素、二酸化炭素、窒素化合物)が生成するので、呼吸保護具を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

周辺を立ち入り禁止にし、関係者以外を近づけないようにして二次災害を防止する。

屋内の場合、処理が終わるまで十分に換気を行う。作業の際には必ず保護具を着用する。

付近の着火源・高温体および付近の可燃性を素早く取り除く。

環境に対する注意事項

河川等に排出され、環境へ影響を起こさないように注意する。環境中に放出してはならない

回収、中和 ならびに 封じ込め及び浄化の方法/機材

少量の場合は、砂、ウエスなどに吸収させて、密閉式の容器に回収する。

大量の場合は、盛土で囲って流出を防止し、安全な場所に導いて回収する。

火花を発生しない安全な用具を使用する。付着物、廃棄物などは、関係法規に基づいて処置すること。

二次災害の防止策

排水溝、下水道、地下室あるいは閉鎖場所への流入を防ぐ

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策

(取扱者のばく露防止)

火気厳禁

適切な保護手袋、衣類及び眼、顔面用の保護具を着用すること。

粉塵/煙/ガス/ミスト/蒸気を吸入しないこと。

眼、皮膚、衣服に付けないこと。

静電気対策を行う。作業着、作業靴は導電性のものを用いる。

取扱い作業場の電気設備は防爆構造とし、機器類は接地する。

(火災・爆発の防止)

周辺での高温物、スパーク、火気の使用を禁止する。ー禁煙。

局所排気、全体換気

取扱う場合は、局所排気設備のある場所で取扱う。

注意事項

休憩前や作業後は、手、顔等をよく洗い、うがいをする。

安全取扱注意事項

保護眼鏡、保護手袋等の適切な保護具を着用する。

- 指定された場所以外では、飲食、喫煙を行ってはならない。
- 配合禁忌等、安全な保管条件
適切な保管条件
容器を密閉し、涼しい換気のよい場所で、施錠して保管すること
避けるべき保管条件
大気中の湿度や雨水の進入、霜、熱及び直射日光を避ける。
- 配合禁忌
消防法で定める混載禁止物質との同一保管は禁止。
セットで販売している化学物質以外との配合は禁止。
- 容器包装材料
データなし

8. ばく露防止及び保護措置

職業ばく露限界値、生物学的限界値等の管理指標

管理濃度

- (酢酸エチル) 200ppm
- (メチルエチルケトン) 200ppm
- (酢酸n-ブチル) 150ppm

許容濃度

- (酢酸エチル) 日本産衛学会 200ppm; 720mg/m³、ACGIH TLV-TWA 400ppm (2005年)
- (メチルエチルケトン) 日本産衛学会 200ppm; 590mg/m³、ACGIH TLV-TWA 200ppm; TLV-STEL 300ppm (2005年)
- (酢酸n-ブチル) 日本産衛学会 100ppm; 475mg/m³、ACGIH TLV-TWA 150ppm; TLV-STEL 200ppm(2005年)

設備対策

労働衛生法上の規制に従って、可能な場合には、換気設備などの施設上の技術的な対策を講じて作業者を保護しなければならない。取扱い場所の近くにシャワー手洗い洗眼設備等を設けその位置を表示する。

保護具

呼吸用保護具

必要に応じて、その有害性物質に対して適切な保護の出来る保護マスクを着用する。

手の保護具

保護手袋を着用する。

着用すべき手袋の材質: 不浸透性の耐油性手袋(アクリロニトリル、ブチルゴム、ネオプレン系)

眼の保護具

保護眼鏡または防災面を着用する。

皮膚及び身体の保護具

保護衣および必要に応じて保護長靴、保護前掛けを着用する。取り扱う場合には、皮膚を直接曝さないような衣類を着けること。また化学薬品が浸透しない材質であることが望ましい。

衛生対策

取扱い後は、良く手洗いうがいをする。

この製品を使用するときは、飲食又は喫煙をしてはならない。

汚染した衣類を再使用する場合は洗濯する。

9. 物理的及び化学的性質

物理状態 : 液体

色 : 無色～淡黄色

臭い : 芳香臭

融点/凝固点 : データなし

沸点又は初留点及び沸点範囲 : 78°C

可燃性 : データなし

爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界 :

下限 : 1.7Vol% (メチルエチルケトン)

上限 : 11.5Vol% (酢酸エチル)

引火点 : -7°C

自然発火点 : 223°C
分解温度 : データなし
pH : 該当しない
粘度 : データなし
動粘性率 : データなし
溶解度
水に対する溶解度 : 水に不溶
n-オクタノール/水分配係数 : データなし
蒸気圧 : 10kPa(20°C)(酢酸エチル)
密度及び/又は相対密度 : 0.95g/cm³ (23°C)
相対ガス密度(空気=1) : データなし
粒子特性 : データなし

10. 安定性及び反応性

安定性

通常の温度、圧力の条件下では安定である。

危険有害反応可能性

特記すべき反応性なし。

避けるべき条件

容器を発火源(火花、炎)、熱源に近づけてはならない。

加圧、切断、溶接、ロウ付け、はんだ付け、穴あけ、研削を行ってはならない。

混触危険物質

データなし

危険有害な分解生成物

データなし

11. 有害性情報

物理的、化学的及び毒性学的特性に関係した症状

急性毒性

経口毒性成分データ

(メチルエチルケトン) ラット LD50 2,483mg/kg (PATTY (4th, 1994))

吸入(蒸気)毒性成分データ

(メチルエチルケトン) ラット LC50=34.45mg/l(EHC143(1992), PATTY(4th,1994), IRIS(2003),ATSDR (1992))

(酢酸n-ブチル) ラット LC50=2000ppm, 9.5mg/l (ACGIH (2001))

局所効果

皮膚腐食性・刺激性

(メチルエチルケトン)

ウサギ 軽度または中程度の刺激 (EHC143(1992), DFGOTvol.12(1999), PATTY(4th,1994), ATSDR(1992))

(酢酸n-ブチル) 人の情報はmild skin irritation (ACGIH(2001))

眼に対する重篤な損傷・刺激性

(酢酸エチル) ウサギ 刺激 (ECETOC (TR48(2),1998))

(メチルエチルケトン)

ヒトの蒸気暴露例 眼刺激性 (ACGIH(7th, 2001), DFGOTvol.12(1999), PATTY(4th, 1994), IRIS(2003))

(酢酸n-ブチル) 角膜の混濁は2日目に回復、虹彩には影響をみていない、また結膜の発赤は7日目、14日目には回復している。(ECETOC)

感作性 : データなし

生殖細胞変異原性 : データなし

催奇形性 : データなし

発がん性 : データなし

生殖毒性 : データなし

短期ばく露による即時影響、長期ばく露による遅延/慢性影響

特定標的臓器毒性－単回暴露成分データ

(酢酸エチル)

400ppm 暴露でヒトの上部呼吸器刺激 (ACGIH(2001), DFGOT(vol.12, 1999)) 致死濃度に近い暴露で麻酔及び肺損傷 (DFGOT(vol.12, 1999))

(メチルエチルケトン)

ラット又はマウスの吸入暴露試験では比較的低濃度で中枢神経系に影響が認められている(EHC143(1992), PATTY(4th,1994), IRIS(2003))

ラットの中程度用量の経口投与で腎臓に影響がみられた(DFGOT Vol.12(1999), IRIS(2003), ATSDR(1992)) (酢酸n-ブチル)

ヒトのデータにより中枢神経区分1、動物試験により区分2のガイダンス値の範囲で肺水腫がみられたので区分2、呼吸器刺激がみられた (ACGIH(2001))

特定標的臓器毒性－反復暴露成分データ

(メチルエチルケトン) ヒト職業暴露例に手及び腕の感覚麻痺がみられたとの記述 (EHC143(1992), DFGOTvol.12(1999), IRIS(2003))

職業暴露例での中枢神経障害を示唆する記述 (DFGOT vol.12 (1999), IRIS(2003))

誤えん有害性 :データなし

12. 環境影響情報

生態毒性

水生毒性

水生毒性 成分データ

(メチルエチルケトン) 魚類(ヒメダカ) LC50>100mg/L/96H (環境省生態影響試験, 1996)

(酢酸エチル) 甲殻類(ミジンコ) EC50=164mg/L/48H (IUCLID, 2000)

(酢酸n-ブチル) 甲殻類(オオミジンコ) LC50=32000 µg/L(48hr) (環境省リスク評価第1巻 2002)

水溶解度

(メチルエチルケトン) 難水溶性でなく、急性毒性は低い

(酢酸エチル) 難水溶性でなく、急性毒性は低い

残留性・分解性 :データなし

生体蓄積性 :データなし

土壌中の移動性 :データなし

オゾン層破壊物質 :データなし

その他情報

その他の環境有害性情報 漏洩、廃棄などの際には環境に影響を与えるおそれがあるので取り扱いに注意する。特に製品や洗浄水が地面、川や排水溝に直接流れないように対処すること。

13. 廃棄上の注意

廃棄方法

産業廃棄物(廃油と廃プラスチック類の混合物)として、都道府県知事などの許可を受けた専門の産業廃棄物処理業者に委託処理する。乾燥し、固形状になったものは廃プラスチック類として同様に処理する。

汚染容器及び包装

空容器は内容物を完全に除去してから処分する。

14. 輸送上の注意

国連番号、国連分類

国連番号 :1133

クラス :3

容器等級 :II

正式品名 :接着剤(引火性液体を含有するもの)

指針番号 :128

輸送の特定の安全対策及び条件

容器の破損、内容物の漏れがないことを確かめ、転倒、落下、破損の無いように積み込み、荷崩れを防止すること。火気厳禁。

陸上輸送 : 消防法、労働安全衛生法の輸送について定めるところに従う。

海上輸送 : 船舶安全法に定めるところに従う。

航空輸送 : 航空法に定めるところに従う。

15. 適用法令

毒物及び劇物取締法

該当しない、しかしながら、幻覚又は麻酔の作用を有する物: 酢酸エチルを含有

労働安全衛生法

施行令18条 名称等を表示すべき危険物及び有害物 (平成26年6月1日以前)

酢酸エチル; メチルエチルケトン; 酢酸n-ブチル

施行令18条 名称等を表示すべき危険物及び有害物 (平成26年6月1日施行分より)

酢酸エチル; メチルエチルケトン; 酢酸n-ブチル

施行令18条の2 名称等を通知すべき危険物及び有害物

酢酸エチル; メチルエチルケトン; 酢酸n-ブチル

別表第1 危険物(第1条、第6条、第15条関係)

危険物・引火性の物

特定化学物質障害予防規則

該当しない

有機溶剤中毒予防規則 第2種有機溶剤

酢酸エチル; メチルエチルケトン; 酢酸n-ブチル

化学物質管理促進(PRTR)法

該当しない

消防法

第4類 引火性液体第1石油類 危険等級 II 非水溶性液体

船舶安全法

引火性液体類

航空法

引火性液体

海洋汚染防止法

有害液体物質(混合物)

16. その他の情報

参考文献

JIS Z 7252, JIS Z 7253 : 2019

Supplier's data/information

化学物質総合情報提供システム (独立行政法人製品評価技術基盤機構NITE)

責任の限定について

本データシート記載内容は、現時点で入手できる資料、情報、データにもとづいて作成しておりますが、化学品の含有量、物理化学的性質、危険・有害性等に関しては、いかなる保証をなすものではありません。また、記載内容は新しい知見又は法規制の変更等により改訂されることがあります。

注意事項は、通常の手配を前提としたものであるため、特殊な取扱いの場合には、用途・用法に適した安全対策を実施の上、ご利用ください。

以上